

和顔愛語

「和やかな顔と思いやりの言葉」で人に接すること



令和8年1月5日

冬休み明け集会での校長のお話

冬休みに入る前に、おうちの人や地域の人に笑顔を届けてねってお願いしたでしょ。
どうだった？笑顔が届けられたかな？

届けられたよっていう子は、これからも周りの人に笑顔を届けてくれるとうれしいよ。
もし、笑顔が届けられなかったよっていう人は、小さなことでもいいから、周りの人に笑顔を届けてくれたらうれしいよ。

前にお話をしたことがあるかもしれないけど、ある会社の人
「あなたを笑顔にしてくれる言葉は何ですか」
ってたくさんの人に聞いたんだって。

そうしたら、約半分の人が「ありがとう」と答えたんだって。
他の会社では
「あなたの好きな言葉はなんですか？」
って聞いたら、ほとんどの人が「ありがとう」を選んだんだって。

校長先生も、冬休みの前の日に、みんなに昇降口で「さようなら」を伝えていたら、ある子が、「校長先生、ありがとうございます。よいお年をお迎えください」って言ってくれて、とってもうれしい気持ちになったよ。

今日から、第4ステージだね。
このステージでは、今年お世話になった人や仲良くしてくれた人、笑顔が届けくれた人に「ありがとう」を伝えられたらうれしいなって思うんだよ。

きっと、「ありがとう」を言ってもらった人は
笑顔になると思うんだよ。

校長先生は、みんながたくさんありがとうを伝えることで、たくさんの笑顔が届けられることができたらずてきだなんて思うよ。
そして、細江小やみんなのおうち、細江の街が、みんなの「ありがとう」で笑顔いっぱいになったら幸せだなんて思うよ。

そんな第4ステージになったら、校長先生はうれしいよ。

ここからは余談です。

子どもたちにはお話していません。先生方に読んでいただいたものになります。

未来のために今を使わない（余談）

冬休み明けの集会でお話しする内容を考えていたときに、
「今を誠実に、まっすぐに生きてほしい」
と伝えたいなって思いました。

学校では例えば、4年生の3学期を、「5年生の0学期」という言い方をすることがあります。
それは、「5年生になる準備をしましょう」という意味です。（2年生の3学期は、3年生の0学期）

でも、私は、この言葉が好きじゃありません。

5年生でがんばるための準備をしてほしいという気持ちはわかるんです。
でも、未来のために、今を使うんじゃないで、

「4年生の3学期を4年生として誠実に、まっすぐに過ごしてほしい。」
「今のために、今を生きてほしい。」
って思うんです。

それが、きっと結果として、次の学年への準備になると思うんです。

こんなことを言うと、よく
「〇年生の0学期」
って、いろんな学校で、いろんな先生が言っているのに……って変な顔をされます。

でも、誰かの言葉で、語っても、それは本当の意味で、今の子どもへの自分自身の願いじゃないように思うんです。

子どもたちには、未来のために今を使うんじゃないで、今を生きてほしいと思うんです。
だから、私自身も、子どもの今をきちんと見守っていききたいなと思います。